



ふくおか [Good] 農業人100
 主な農産物 / イチゴ

谷川 裕子 さん (46歳) (営農地 / 八女郡広川町)

事務職からイチゴ農家へ

《就農のきっかけ》

夫の就農への思いがきっかけに

自宅のある広川町から福岡市まで通いながら事務のお仕事をされていた谷川さん。ご主人もサラリーマンとして働いていましたが、以前から「農業をやりたい」という思いがあったそうです。谷川さん自身も農業をやることに対してそんなに悪い気はしていませんでした。そんなある日、ご主人が突然「農業をやりたいんです。」と、普及指導センターに相談に行かれたそうです。「あまりにも突然のことで驚きましたが、こんなに本気ならばやってみようと思ひ農業をすることを決心しました。」と語ってくれました。

まずはご主人のお仕事の関係や就農後の生活を考慮して、谷川さん一人で就農することを選択されたそうです。

《これまでの過程》

流れがわからず悪戦苦闘

「就農前に休みの日を利用して数日だけ農家に研修に行ったのですが、実際に始めてみると流れがわからず困ってしまいました。また、借りていた農地も2年で契約が切れてしまい別の農地を借りることになってしまったんです。毎年同じ土地でできればその土地やそのハウスにあった栽培が分かってくるのですが、土地が変わってしまうとハウスの形状や土、水も変わってくるので再度栽培方法を考え直したり、資材を新たに購入したりしなければならなくなりました。そんなときは自分が勝手に師匠と決めた農家の方に相談に行きました。もう、恥ずかしいくらい聞きましたね。でも、師匠や周りの農家の方、選果場で知り合った人達もやさしく声をかけてくれたり、教えてくれたりしてもらえるので本当に助かりました。」と語る谷川さん。地域の人々の支えは大切なポイントのようです。



プロフィール

- 家族構成 / 本人、夫
- 前職 / 事務職パート
- 営農年数 / 約3年
- 耕作(経営)面積 / イチゴ(9a)
- 販路 / JA共販

《これからの展望》

品質の向上を目指す

「農業を始めてから、休みの日はあまりありませんが精神的に楽しく仕事できています。周りからも『健康的になったね。』とよく言われるようになりました。もともとイチゴは好きでしたが、自分で作るようになってからは、なおさら好きになりましたね。自分で作ると愛着が湧くんではないですか。あと、イチゴだけじゃなくてほかの野菜でも作る人のことをそれまで以上に考えるようになりました。絶対に残せなくなりましたよ。」と、どんどん農業にのめりこんでいる谷川さん。「今後の目標は品質の向上ですね。よりおいしくて安全・安心なイチゴを作れるように頑張りたいと思います。」と、さらなる目標に向け努力しています。



Good 成功のためのポイント

農業はやった分だけ必ず結果が返ってきます。私は全くの素人でしたが、周りの助けもあり、やってみると何とかなりました。ただ、無理をしないことが大切だと思います。